

VDR 消費者情報



特集：夏の汗の臭いの実態

調査の概要

- 調査方法：インターネット調査
- 調査期間：2015年7月17日～18日
- 調査対象：M.netインターネット調査モニター 20～39才の男女
- 調査数：1000

平成27年8月3日発行(第27号)

発行者：坂上眞介 編集長：水出理菜

東京都品川区西五反田8-3-16

西五反田8丁目ビル4F

株式会社市場開発研究所

連絡先：Tel: 03-5436-6222

Fax: 03-5436-6232

調査の背景と目的

- ⊕ 近年、ヒートアイランド現象の影響からか気温が30度を超えてしまう日も珍しいものではなくなってきたように思えます。そんな暑さに伴い、汗の臭いというものが密かに気になっている方も実は多いのではないのでしょうか。汗の臭いは例え気になっても、デリケートな問題であるが故に、人に聞く機会はあまりないのではないのでしょうか。そこで今回、汗の臭いに対する意識等に関して調査し、普段は知ることができない実態を探ってみました。

■ 有効サンプル回収数 (表1)

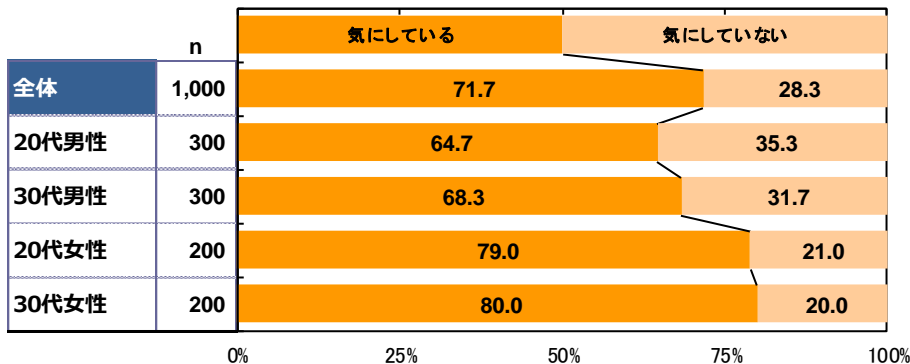
計	20代男性	30代男性	20代女性	30代女性
1,000	300	300	200	200

■ 本調査回答数 (表2)

計	20代男性	30代男性	20代女性	30代女性
400	100	100	100	100

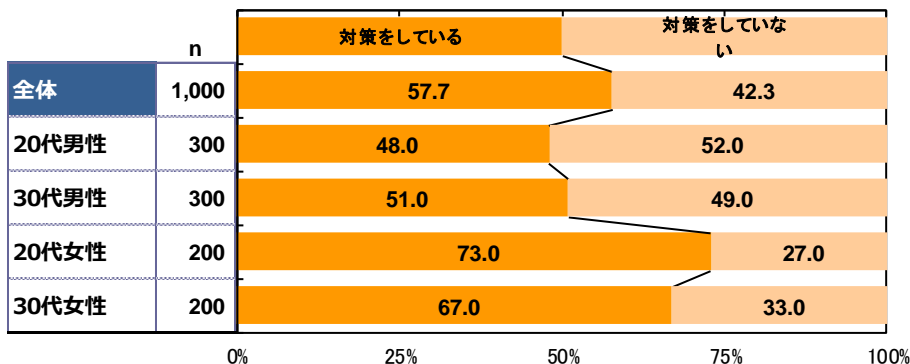
●対象者プロフィール

■ 汗の臭いを気にしている人



- ⊕ 今回の調査では、20～30代男女にターゲットを絞り、調査を実地しました。(表1参照)
- ⊕ 『汗の臭いを気にしている人』は各年代とも女性は8割、男性は6割で女性の方が高いです。また、年代間での顕著な差はみられませんでした。

■ 汗の臭い対策をしている人



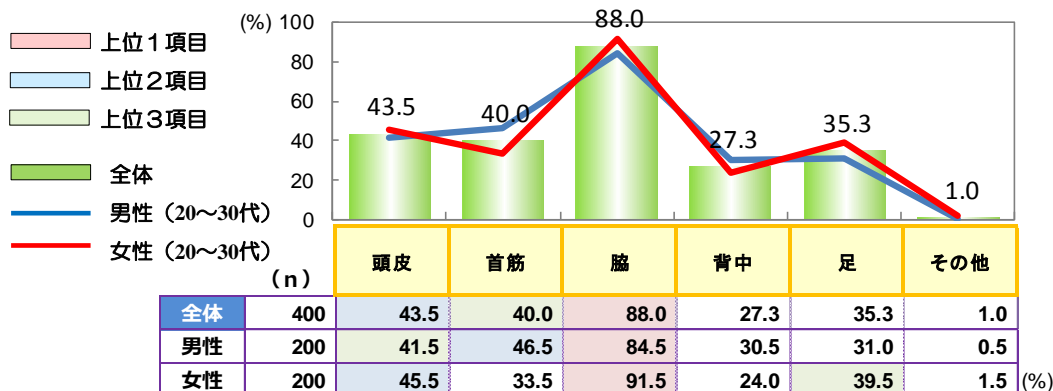
- ⊕ 『汗の臭い対策をしている人』は、「20代女性」が最も多く、次いで「30代女性」が多いという結果が得られました。男性は各世代とも半数前後を占めており、「汗の臭い対策」は女性ほど浸透していないと言えるのではないのでしょうか。
- ⊕ 今回の対象者のうち、『汗の臭いを気にしている人』で且つ『汗の臭い対策をしている』を選択した20～30代男女を、各世代男女別にそれぞれ100人ずつ均等に割り付け、次のページ以降にある本調査を実施しました。(表2参照)

●汗の臭いが気になる身体の部位・気になる理由

●男女ともに「脇」がトップ。男性は見える部位、女性は蒸れる部位の臭いを気にしている

- 全体では、「脇」がトップで9割弱、次いで「頭皮」、「首筋」がそれぞれ4割、「足」が3割半ばでした。
- 男性のみでは、「脇」に次いで「首筋」「頭皮」がそれぞれ4割台、「足」が3割になりました。
- 一方女性のみでは、「脇」に次いで「頭皮」が4割半ば、「足」が4割弱、「首筋」が3割という、男性とは異なる結果が得られました。
- 上記の結果から、男性は「頭皮」「首筋」のような常に人に見られている部位、女性は「頭皮」「足」のような蒸れて臭いがこもりやすい部位の臭いを気にしている傾向があると考えられます。

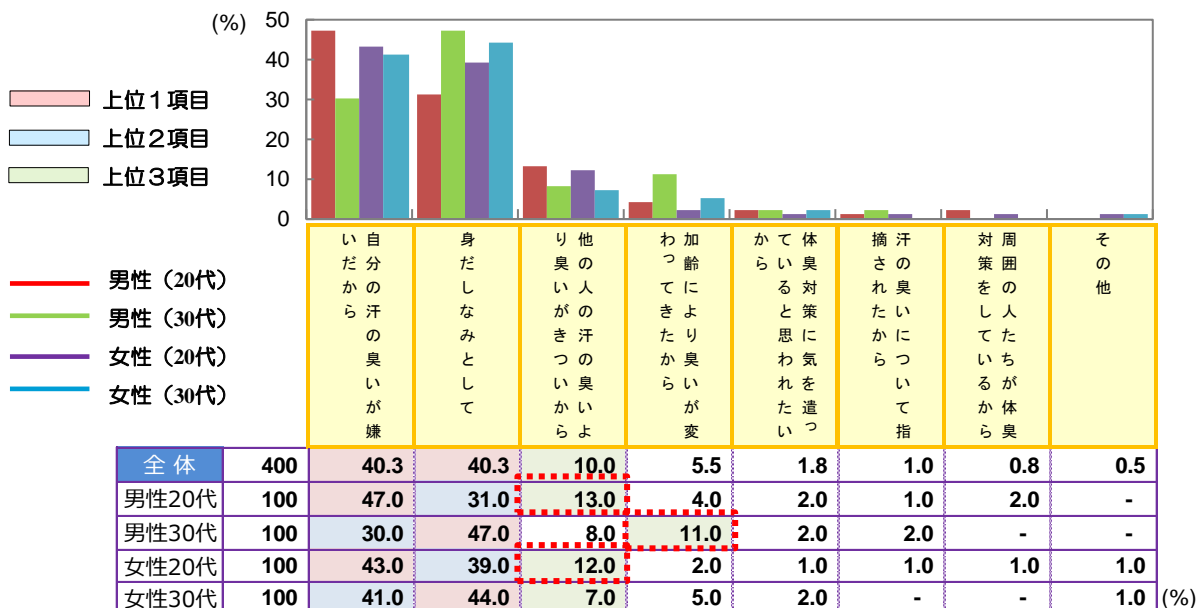
■ 身体どの部位が気になるか (n=400)



●気にする理由は性別よりも年齢による変化が大きく関与する

- 全体では、「自分の汗の臭いが嫌いだから」「身だしなみとして」が上位となります。
- 男女20代は「自分の汗の臭いが嫌いだから」がトップで、次いで「身だしなみとして」となっています。また、男女ともに「他の人の汗の臭いより臭いがきついから」がそれぞれ30代に比べ若干高く、人の臭いと比較する傾向があると言えます。
- 男女30代は「身だしなみとして」がトップで、次いで「自分の汗の臭いが嫌いだから」となっています。30代男性は加齢による臭いの変化も体臭を気にする一因と考えられます。
- 上記の結果から、年齢を重ねるにつれて汗の臭いを気にする理由が徐々に変わっていくと言えます。

■ 最も気にする理由 (ひとつだけ)

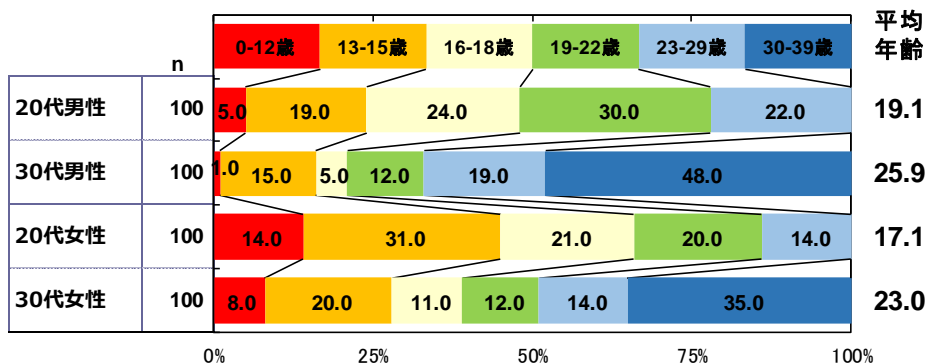


●汗の臭いを気になりだした理由

●体臭を気にしだす年齢は男女ともに10代と30歳過ぎが多い

- ✦ 最も比率が高い年齢は、20代男性は「19-22歳」で3割、20代女性は「13-15歳」で3割、30代男性・30代女性はともに「30-39歳」（男性は5割弱、女性は3割半ば）でした。
- ✦ 20代男女を比較すると、20代男性は**はたち前後**で体臭が気になりだす人が最も多いです。一方、20代女性は3人のうち2人が**高校を卒業する年齢まで**に汗の臭いが気になりだしています。
- ✦ 30代男女を比較すると、30代男性は30代女性に比べて気になりだす時期が遅く、30歳を過ぎて汗の臭いを気になりだした人が半数を占めています。一方、30代女性も30歳を過ぎてから気になりだす人が3分の1となっています。
- ✦ 平均年齢を比較すると、各世代とも女性が男性より**約2歳若い**ことがわかります。
- ✦ 上記の結果から、男女ともに10代で汗の臭いを意識する人と30歳を過ぎてから意識をする人の二極化が起きているとは考えられないでしょうか。

■ 気になりだした年齢 (n = 400)

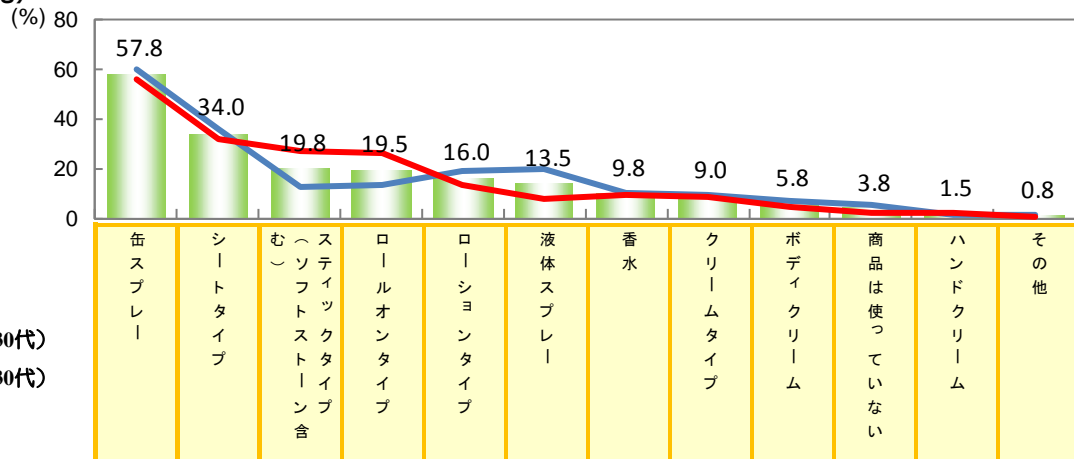


●対策として使用している商品

●男女ともに「缶スプレー」「シートタイプ」が多いが、好むものは違う

- ✦ 全体を見ると、使用商品は「缶スプレー」が最も多く、次いで「シートタイプ」の利用者が多いという結果が得られました。
- ✦ 「缶スプレー」「シートタイプ」は性別を問わずに利用されていますが、男性は女性より「液体スプレー」「ローションタイプ」が高く、一方女性は男性より「スティックタイプ(ソフトストーン含む)」「ロールオンタイプ」が高いという特徴があります。
- ✦ 上記の結果から、男性は「液体スプレー」「ローションタイプ」のような液体の商品、女性は「スティックタイプ(ソフトストーン含む)」「ロールオンタイプ」のような肌に直接塗り込むような商品を好む傾向があると考えられます。

■ 使用商品 (いくつでも)



	全体	400	57.8	34.0	19.8	19.5	16.0	13.5	9.8	9.0	5.8	3.8	1.5	0.8
男性	200	60.0	36.0	12.5	13.0	18.5	19.5	10.0	9.5	7.0	5.5	1.0	1.0	
女性	200	55.5	32.0	27.0	26.0	13.5	7.5	9.5	8.5	4.5	2.0	2.0	0.5	

まとめ

男女ともに『脇』が汗の臭いが気になる部位のトップであることが分かりました。脇は、“汗をかきやすく蒸れる”“人目に付きやすい”“独特の臭い(腋臭)を発生することがある”という特徴があるが故に、大半の人が気になる部位であるということを示しているのではないのでしょうか。

汗の臭いを気にしだす年齢は、男女ともに10代と30歳過ぎが多いという結果も得られました。これらは、汗の臭いへの意識の変化や、加齢に伴う体質の変化によって30代以降に初めて“汗の臭い”対策に向き合う人が多いことを示しているのではないのでしょうか。

使用商品が『缶スプレー』『シートタイプ』に集中していることから、短時間で手軽に使える商品ほど使用率が高いといえます。それだけではなく、男性は液体の商品、女性は直塗りの商品を使用するという傾向も確認できました。

汗の臭いが気になる部位に男女間の大差は見られませんが、気にする理由や年齢、商品には違いがみられました。今後さらにその実態を追及していくことで、消費者が求める商品を生み出すきっかけも掴めるのではないかと考えています。

(調査集計部/水出理菜 mizuide@mdr-j.co.jp)

クイックGIのご案内

～プレゼンにむけて提案のヒントを収集しませんか?～

発注から実査まで最短1週間!!

グループインタビューを“迅速”、かつ“低予算”で提供させていただき簡易型グループインタビュー。
「プレゼン資料として、消費者のインサイトを探りたい」という用途に特化し、“定量では測れない意識の探索”
“コンセプトの精緻化”
あるいは“消費者の生の声を企画の後押しに”といった用途で
ご利用いただけます。

■ 概要



基本パック	グループ数	リクルート方法	人数	フロー作成	インタビュー時間	司会	会場
	1グループ	機縁法	4名	弊社で用意	60分	弊社で用意	御社会議室 ※弊社簡易インタビュールームでも可

■ 金額(税別)

◆基本パック	20万円 ※リクルート条件によっては 応相談	成果物: リクルート ~ インタビューまで
◆オプション	+2万円	(発言速記録)

■ 弊社インタビュールーム



<<お問い合わせ先>>
株式会社 市場開発研究所
営業企画二部
担当: 船木・岡田
TEL:03-5436-6222 FAX:03-5436-6232

<<弊社所在地>>
〒141-0031 東京都品川区西五反田8-3-16
西五反田8丁目ビル4F
※五反田駅西口より徒歩8分

ご希望の方には、今回調査した全てのデータをお渡します。お気軽に営業担当までお問い合わせください。